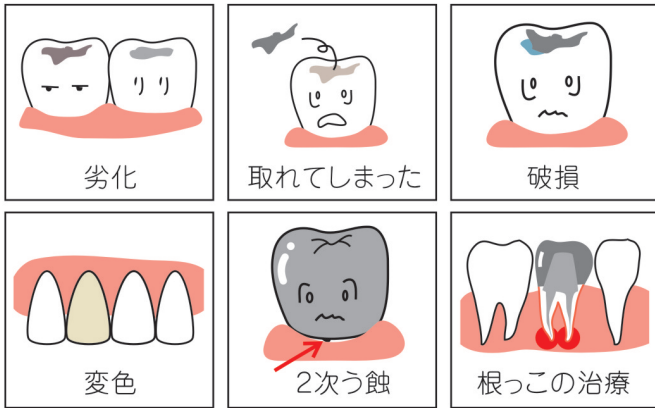


詰め物や被せ物は 長〜く使う道具です

歯を削った後につける詰め物や被せ物は、一度付けたと作り直しの必要がない限り数年間使い続けることがほとんどです。素材には保険適用と適用外があり、見た目・耐久性・費用なども違うので、自分に合った素材を選ぶことが大切です。ご不明な点やご質問などございましたらお気軽にご相談ください。

作り直す理由



「保険適用」

奥歯は銀歯、前歯は金属の表面に特殊な白いプラスチックを付けたものです。保険の被せ物・詰め物は治療で削った歯を保護する、食べる話すといった日常生活に支障をきたさないように行う治療のため、見た目を美しくする、自然な感じにする、といったことは考慮されていません。保険が適用されるため費用の負担が少ないことが一番のメリットです。



「保険適用外」

様々な素材が使える治療法などに制限がないため、耐久性、見た目、生体親和性、噛む力の強さなどを考慮した治療が可能です。差し歯を気付かれたくない、銀歯はイヤ、長持ちするものが良い、金属アレルギーの心配がある、といった要望にも対応できます。

素材の特性の違い

| | ジルコニア | セラミックのみ | セラミック+金属 | 保険 |
|---------|-------|---------|----------|----|
| 見た目 | ◎ | ◎ | ◎ | △ |
| 前歯の透明感 | ◎ | ◎ | ○ | △ |
| 変色しにくい | ◎ | ◎ | ◎ | △ |
| 強度 | ◎ | ○ | ◎ | ○ |
| 体へのやさしさ | ◎ | ◎ | ○ | △ |

歯のQ&A

Q 2年ほど歯科医院へ行っていません。痛みや違和感はないのですが健診が必要ですか?

A 痛みや違和感がなくても、歯の表面に細菌の膜や歯石が付着しています。また、歯周病のように自覚症状もなく進行する病気もありますので、忙しくても年1回は検査を受けましょう。早期に対処することで、医療費の負担を減らし、歯を長持ちさせます。

自覚症状がなくても、疾患が隠れている場合があります

初期のむし歯は、黒くなく痛みなどの自覚症状もないので自分ではわかりません。

初期の歯周病は自覚症状はありません。症状が現れた時は進行している可能性があります。

2次う蝕 (Secondary decay) / 土台の腐食 (Abutment caries)
被せ物や詰め物をした歯もむし歯になります。

初期の歯周病は自覚症状はありません。症状が現れた時は進行している可能性があります。

ブリッジや入れ歯を支えている歯には負担がかかっています。

神経を取った歯は健康な歯よりもろく、異常があっても自覚できません。根っこの状態をレントゲンでチェックする必要があります。

